

第25回大学教育研究フォーラム
追大アサーティブ追跡研究 中間成果報告：多面的評価と選抜効果

6. 総括として

キャリア形成・開発の視点を入試という節目にどう仕込むのか

池田 輝政
追手門学院大学

2019年3月23日（土）
於：京都大学吉田キャンパス

総括：キーワードは

高校生の
『キャリア成熟』

促すことの大切さが
共同研究から見えてきた

これまでの日本の入試接続が
こだわってきたこと

『知的（教科学力）成熟』の視点



とくに5教科学力のなかの達成度
(教科学力の多様性を認めつつ)

これまでの日本の入試接続に
欠けていたこと

『キャリア成熟』の視点



「自己を知る力」

「学び方を知る力」

「プランニングを行なう力」

⇒内なる外の目を鍛えるキャリア形成力

追大アサーティブのアドバンテージ 教育接続となり得た二つの強み

1) 『キャリア成熟』に面談法と面談力が機能した

面談力とは：キャリア形成・開発の視点から、アサーティブ志望者がこれまでをバックキャスト（再帰的にこれまでを想起し経験の意味を見直す、振り返りによってこれまでを想起し経験の連続性を捉え直す）して、自己の現状を俯瞰しその先を展望する機会を与える方法として捉えることができる。

2) 『知的成熟』を教科フリーの基礎学力テスト（マナボス）として公開し、習熟の程度を公平に評価した

マナボス＝言語テスト・非言語テスト・問答式テスト（追大バカロレア）

追大アサーティブの課題：
高大接続のモデルとして普及するには

- 1) 『キャリア成熟』の概念を高大の教育プログラムに向けて発信をする
- 2) 『キャリア成熟』を促し可視化する理論・方法・実践の知を拡げる
- 3) 教育接続の観点から『知的成熟』の基礎学力のベンチマークを設定する

総括の関連データ

根拠資料

参考資料

- (1) 追手門学院「2016年度アサーティブプログラム・アサーティブ入試補助事業報告書、2017年6月.
- (2) ベネッセコーポレーション「大学教育再生加速プログラム (AP)テーマⅢ」中間レポート2017、2017年3月.
- (3) 追手門学院大学アサーティブ研究センター／ベネッセ教育総合研究所「『学びと成長の可視化』からその先へーアサーティブプログラム・アサーティブ入試の実証的研究で見えてきたことー」共同研究報告書、2018年3月.
- (4) アサーティブ研究センター紀要、第1号(2016) & 第2号(2018).